



代表理事組合長

袴田 英明

農政の大転換期を 乗り切る年に



新年明けましておめでとうございます。
います。

組合員並びに日頃よりJAを御
利用頂いております皆様に、新年
は明るく健康で営農に取り組める
年でありますようお願いしております。

さて昨年を振り返ってみます

と、春先は雪どけも遅く低温続き
で、水田の耕起や田植え等に遅れ
が生じました。一方、夏場にあつ
ては連日猛暑が続き、水稻の生育

や畑作物の管理に大変苦勞しまし
たが、営農指導の徹底と農家の努
力で克服した年でありました。収
穫の秋は天候に恵まれ、米・ねぎ・
大豆の収穫、ウド・アスパラの掘
り起こしも順調に終えることが出
来ました。

平成25年度の稲作については、
春先の低温と雪どけの遅れで田植
えは1週間ほど遅れ、夏場は前半
好天に恵まれたものの、その後ぐ
ずついた天気となりました。県の
作況指数は「100」、管内の作況
は「99」、平均収量は552kg/
10a(9.2俵)で平年並の作柄と報
告されたものの、当JA管内は
もう少し減収となったものと推
測されます。集荷数量は250,
023.5俵(平成25年12月11日)
で、契約数量267,281俵に
対し93.5%の実績となり、引き
続き一俵集荷積み上げ運動をして
いる所であります。また、品質
面では心配された高温による胴割
米発生や、カメムシの被害の影響
も少なく、一等米比率は96.1%
となりました。今後、土壌改良剤
の施用による地力向上を図ると共
に、高温対策に向けて田植え時期
の見直しや、栽培体系を検討する
必要性を感じています。
カントリーエレベーターは稼働

謹んで新年の
ご挨拶を
申し上げます

代表理事組合長

副組合長理事

常務理事

常務理事

常務理事

理事

理事

理事

理事

理事

袴田 英明

石山 金由

佐原 操

小林 義昌

坂本 和幸

齋藤 猛

池端 秀巳

斉藤 幸蔵

佐々木 博子

小川 繁